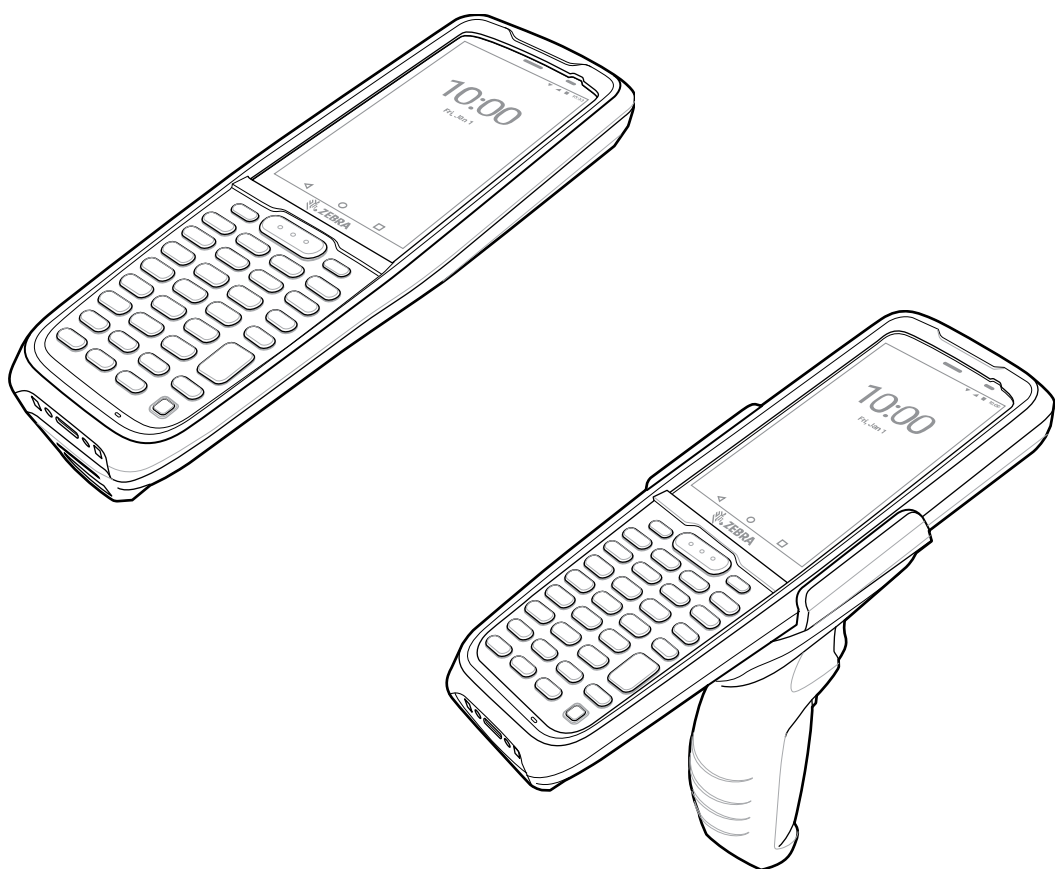


MC2200/MC2700

モバイル コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2020 Zebra Technologies Corporation および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権および商標: 著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証: 保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

パッケージの開梱

デバイスを開梱するには：

1. デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。
2. 次のものが含まれていることを確認します。
 - モバイル コンピュータ
 - PowerPrecision リチウム イオン バッテリ
 - ストレート ハンド ストラップ
 - 規制ガイド
3. 機器に破損がないかを確認してください。不足または破損している機器がある場合、ただちにグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
4. デバイスを初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

機能

正面図

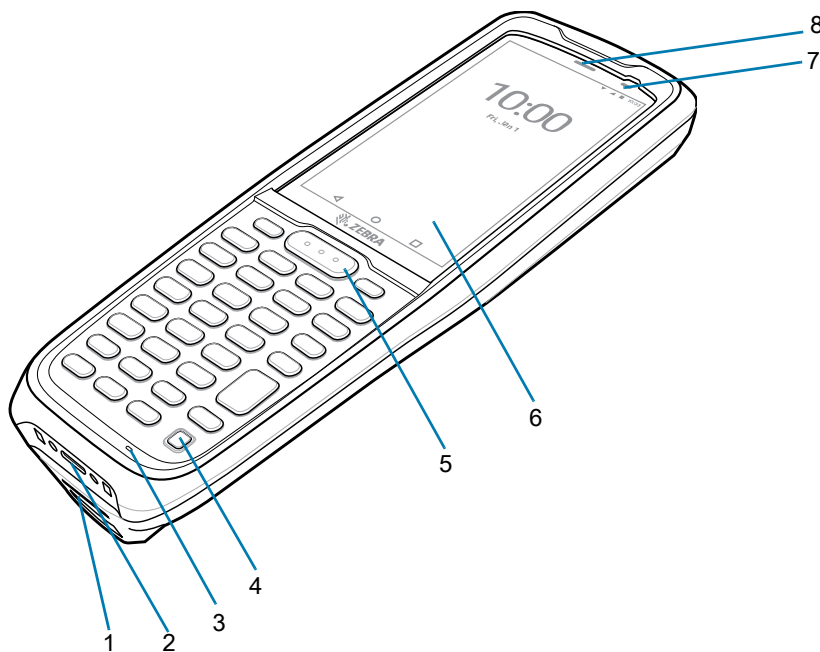


表 1 正面図の機能

番号	項目	機能
1	ハンド ストラップ クリップ スロット	ハンド ストラップを所定の位置に固定するために使用します。
2	USB-C コネクタ / 下部ポート	USB ホスト、クライアント通信、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
3	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。

表 1 正面図の機能 (続き)

番号	項目	機能
4	電源ボタン	ディスプレイをオン / オフにします。長押ししてデバイスをリセットまたは電源をオフにします。
5	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
6	タッチ スクリーン	デバイスの操作に必要なすべての情報が表示されます。
7	充電 / 通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
8	スキャン インジケータ	スキャンの成功または失敗を示します。

背面図

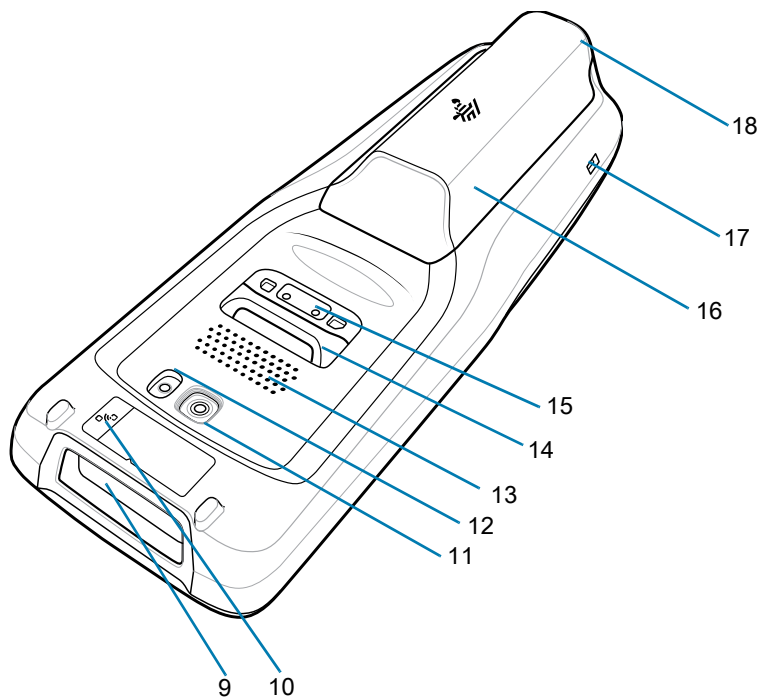


表 2 背面図の機能

番号	項目	機能
9	出カウインドウ	イメージを使用したデータ収集に使用します。
10	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
11	カメラ	写真やビデオを撮影します。
12	フラッシュ	カメラの照明として使用します。
13	スピーカ	ビデオや音楽の再生音を出力します。
14	ハンドストラップ取り付け	ハンドストラップ アクセサリ用の取り付けポイントになります。

表 2 背面図の機能 (続き)

番号	項目	機能
15	背面ポート	2 本のピン バック I/O は、トリガ ハンドルによって作動する電気接点です。
16	バッテリー	標準 - 3,500mAh (通常)/3,300mAh (最小) PowerPrecision リチウムイオン バッテリー
17	位置合わせ機能 / ラッチの溝	充電クレードルの 1 つに USB-C コネクタを誘導するために使用します。
18	バッテリー リリース ボタン	押して、バッテリーを取り外します。

デバイスのセットアップ

デバイスを初めて使用する際には、次のことを行います。

1. micro Secure Digital (SD) カードを取り付けます (オプション)。
2. nanoSIM カードを取り付けます (オプション)。
3. バッテリーを取り付けます。
4. トリガ ハンドルを取り付けます (オプション)。
5. ハンドストラップを取り付けます (オプション)。
6. デバイスを充電します。
7. デバイスの電源をオンにします。

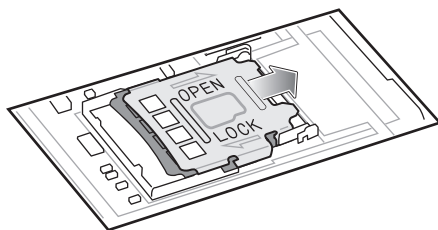
microSD カードの取り付け

microSD カード スロットを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー バックの下にあります。カードに添付されているマニュアルで詳細を確認して、メーカー推奨の使用方法に従ってください。

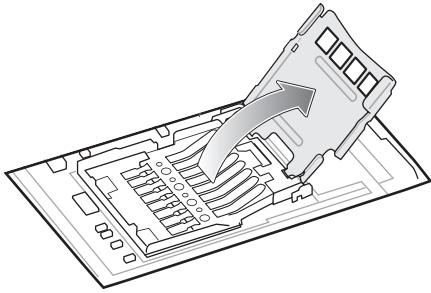


注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

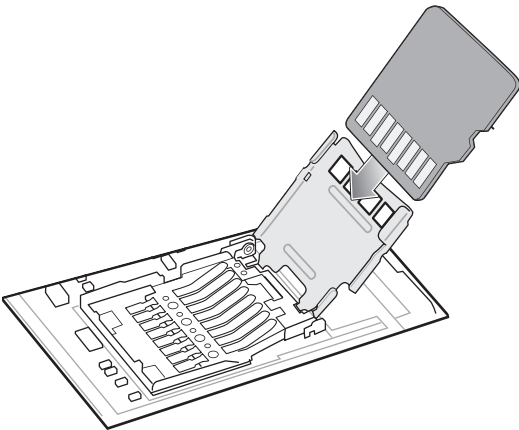
1. バッテリーを取り外します。8 ページの「[バッテリーの取り外し](#)」を参照してください。
2. microSD カード ホルダをスライドさせて開きます。



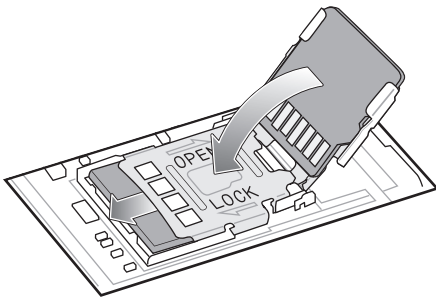
3. microSD カード ホルダを持ち上げます。



4. microSD カードをカード ホルダ ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせて挿入します。



5. microSD カード ホルダを閉じてスライドさせ、ロックします。



6. バッテリーを交換します。8ページの「バッテリーの取り付け」を参照してください。

SIM カードの取り付け



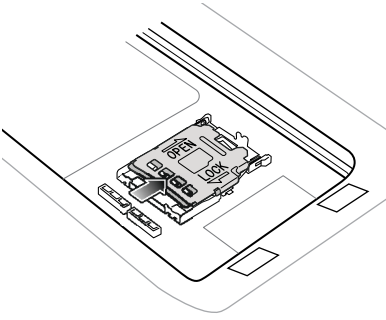
nanoSIM カードのみを使用してください。MC2200 には適用されません。



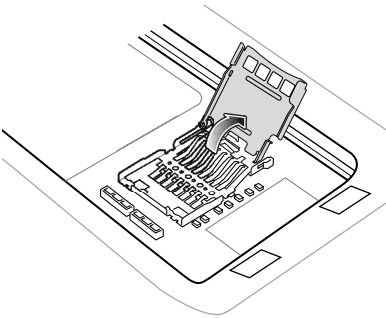
注意: SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する適切な注意事項に従ってください。ESD に関する適切な注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

1. バッテリーを取り外します。8ページの「バッテリーの取り外し」を参照してください。

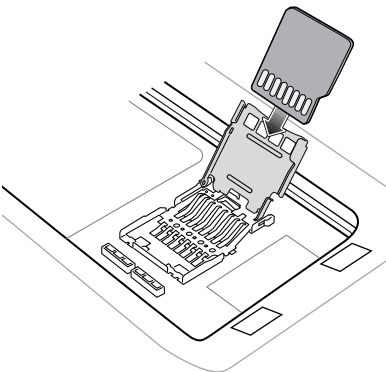
2. SIM カード ホルダをスライドさせてロックを解除します。



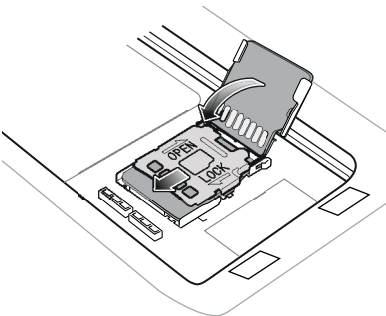
3. SIM カード ホルダ ドアを持ち上げます。



4. カードホルダに nanoSIM カードを下向きに置きます。



5. SIM カード ドアを閉じてスライドさせてロックします。



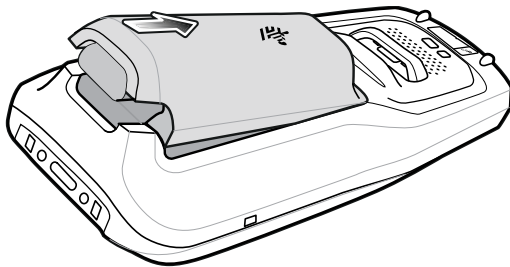
6. バッテリーを交換します。8ページの「バッテリーの取り付け」を参照してください。

バッテリーの取り付け

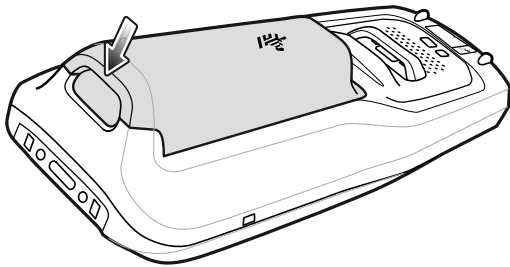


注: 特にバッテリー受けに対して、ユーザーによるデバイスの改変(ラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなど)を加えると、デバイスやアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。シーリング (保護等級 (IP))、衝撃性能 (落下および転倒)、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカーなどを付けないでください。

1. デバイスの背面のバッテリー収納部に、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの上側を先に入れます。



2. バッテリー リリース ボタンが所定の位置に収まるまで、バッテリーの下側をバッテリー収納部に押し下げます。

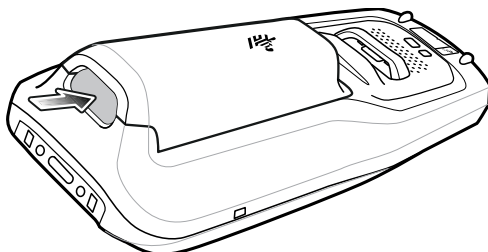


バッテリーの取り外し

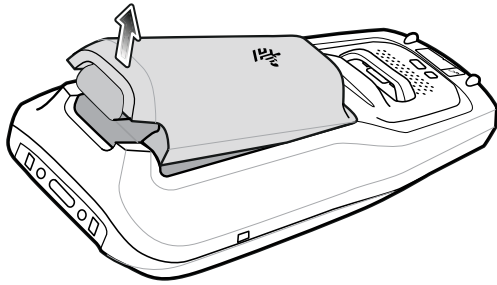


注: バッテリーを取り外す前に、オプションのトリガ ハンドルおよび/またはハンド ストラップを取り外すことをお勧めします。

1. バッテリーの上部と下部の両方を持ち、親指でバッテリーの下部にあるバッテリー リリース ボタンを押します。



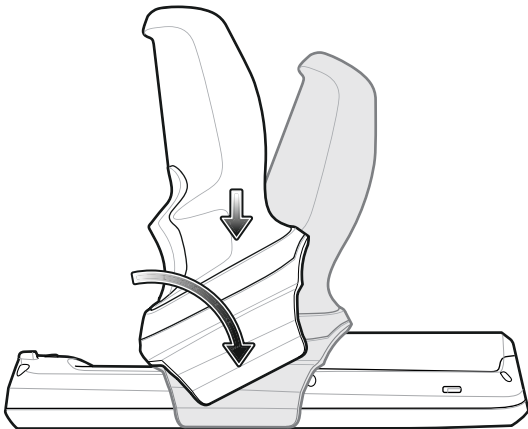
2. バッテリーの下部を持ち上げます。



トリガ ハンドルの取り付け/取り外し

ハンドストラップ マウントを使用したトリガ ハンドルの取り付け

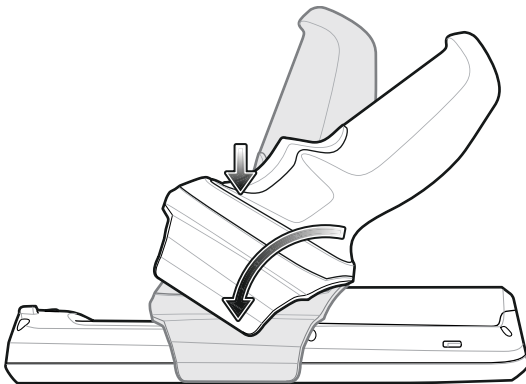
1. デバイス背面のハンドストラップ マウントとトリガ ハンドルの溝の位置を合わせます。



2. 弧を描くようにトリガ ハンドルを降ろしてデバイスに固定します。

バッテリー フィンガ スクープを使用したトリガ ハンドルの取り付け

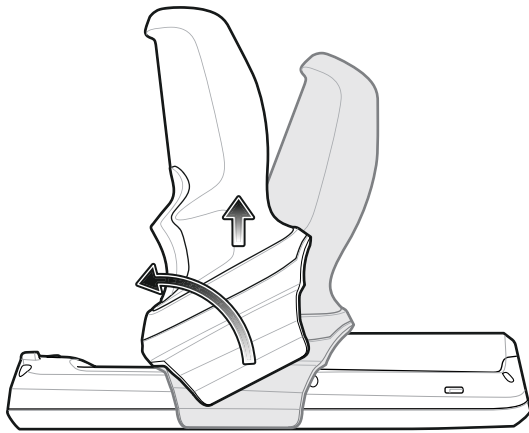
1. バッテリー フィンガ スクープとトリガ ハンドルの溝の位置を合わせます。



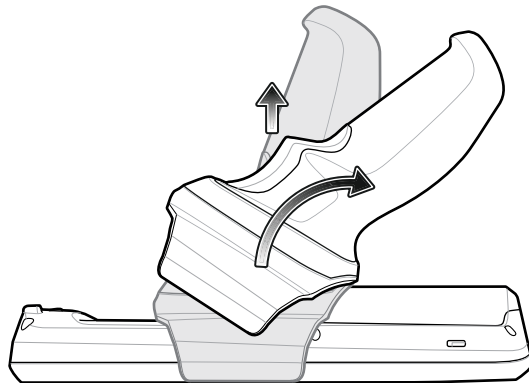
2. 弧を描くようにトリガ ハンドルを降ろしてデバイスに固定します。

トリガ ハンドルの取り外し

弧を描くようにトリガ ハンドルをデバイス上部側に倒し、上に持ち上げて取り外します。



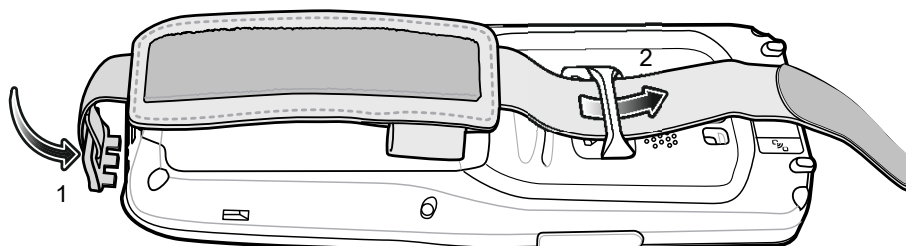
または弧を描くようにトリガ ハンドルをデバイス下部側に倒し、上に持ち上げて取り外します。



ハンドストラップの取り付け

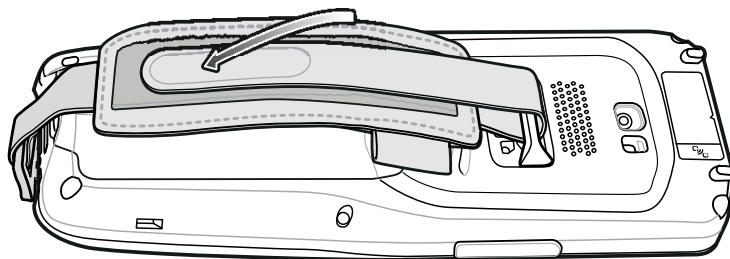
デバイスへのハンドストラップの取り付け

1. ハンドストラップ クリップをデバイス下部のハンドストラップ クリップ スロットに挿入します。



2. ハンドストラップの上端をデバイス上部のハンドストラップ マウントに通します。

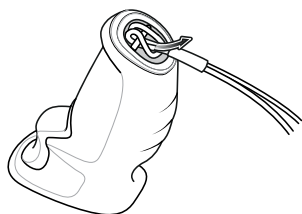
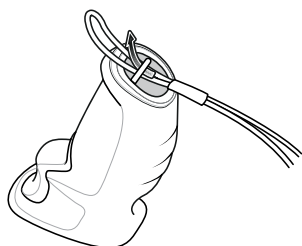
3. ストラップをハンドストラップ マウントに通して折り返し、マジック テープを使用してストラップの端を固定します。



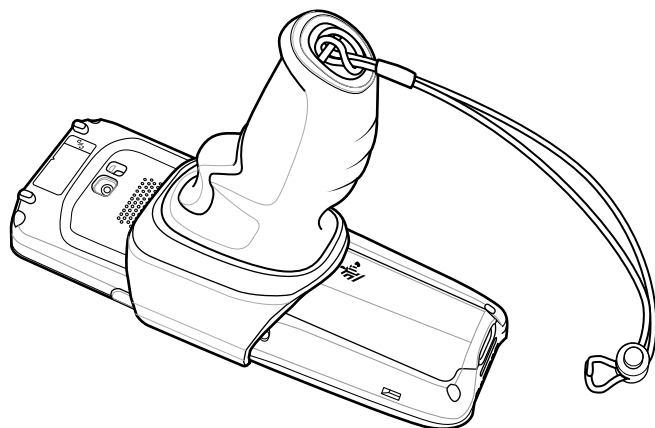
4. デバイスとハンドストラップの間に手を入れて、必要に応じてハンドストラップを調整します。

トリガ ハンドルを使用したデバイスへのハンドストラップの取り付け

1. ハンドストラップ マウントにハンドストラップの端を通し、ストラップの輪を作って固定します。



2. リスト サイズに応じてスライド ボタンを調整して、ハンドストラップの間に手を入れます。



デバイスの充電



注意: デバイスの『Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 3 アクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
1 スロット充電/USB クレードル	CRD-MC2X-1SCU-01	デバイスを充電して、USB Type-C で 1 台のデバイスと通信できるようにします。別売りで、オプションの電源 WUA5V12W0WW があります。
1 スロット充電/通信 クレードル (予備バッテリー充電器付き)	CRD-MC2X-2SUCHG-01	デバイスの充電と通信、および予備バッテリーの充電を行います。電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-388A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。イーサネットサポートを有効にするには、別売の MOD-MT2-EU1-01 が必要です。
4 スロット充電専用 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC2X-4SC4BC-01	最大 4 台のデバイスと 4 個の予備バッテリーを充電します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-381A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
5 スロット充電専用 ShareCradle	CRD-MC2X-5SCHG-01	最大 5 台のデバイスを充電します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-381A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
4 スロット バッテリー充電器	SAC-MC2X-4SCHG-01	最大 4 個の予備バッテリーを充電します。標準容量バッテリーと大容量バッテリーをサポートします。電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、DC 電源コード (CBL-DC-388A1-01)、および国別の AC 電源コードが必要です。
USB-C ケーブル	CBL-TC5X-USBC2A-01	USB-A から USB-C への通信とデバイスへの電力供給を行います。1 スロット充電/USB クレードルで使用します。

メイン バッテリーの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電を開始します。
2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。標準バッテリーが完全に空になっている場合は、3 時間未満で 90% まで充電されます。

注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

表 4 充電 / 通知 LED 充電インジケータ

状態	意味
消灯	デバイスが充電されていません。デバイスが正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスは充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	デバイスは充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。
緑色の点灯	充電が完了しました。
赤色で点灯	充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 - 温度が低すぎるか高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合にこの状態になります。 - 温度が低すぎるか高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。

予備バッテリーの充電

予備バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. バッテリーをバッテリー充電用受けに挿入します。
2. 正しく接触するように、ゆっくりと押し下げます。

カップの予備バッテリー充電 LED は、予備バッテリーの充電の状態を示します。標準バッテリーが完全に空になっている場合は、3 時間未満で 90% まで充電されます。



注: 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。

最も速く充電するには、Zebra の充電アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。デバイスをスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

表 5 予備バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
黄色の点灯	予備バッテリーを充電中です。
緑色の点灯	予備バッテリーの充電が完了しました。
赤色で点灯	予備バッテリーが充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	充電中にエラーが発生しました。予備バッテリーが正しく挿入されているかを確認してください。バッテリーの寿命が近づいています。
消灯	スロットに予備バッテリーがありません。予備バッテリーがスロットに正しく装着されていません。クレードルに給電されていません。

充電温度

バッテリーは、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で充電します。デバイスやアクセサリのバッテリー充電は、常に安全かつ適切に行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、デバイスやアクセサリは、バッテリーを適切な温度に保つため、バッテリーの充電を短時間中止したり再開したりすることがあります。デバイスやアクセサリで異常な温度のため充電を中止した場合には、LED が点灯するとともにディスプレイに通知が表示されます。

1 スロット充電/USB クレードル



表 6 1 スロット 充電 /USB クレードルの機能

番号	項目
1	充電スロット

1 スロット充電/通信クレードル (予備バッテリー充電器付き)

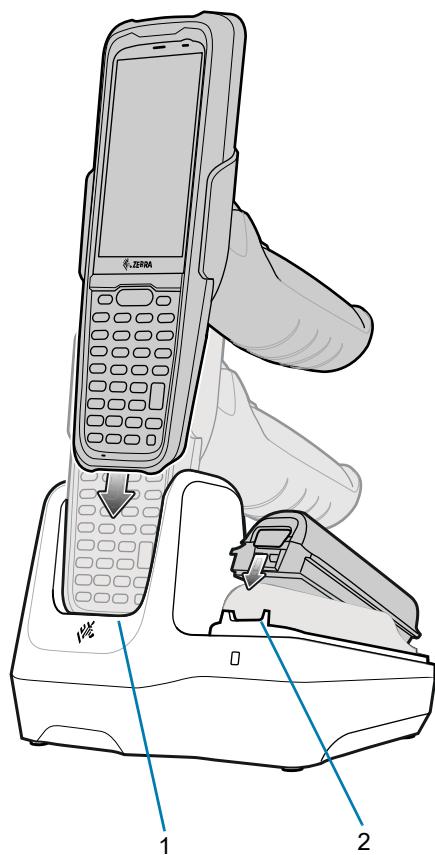


表 7 1 スロット充電 / 通信クレードル (予備バッテリー充電器機能付き)

番号	項目
1	充電 / 通信スロット
2	予備バッテリー スロット

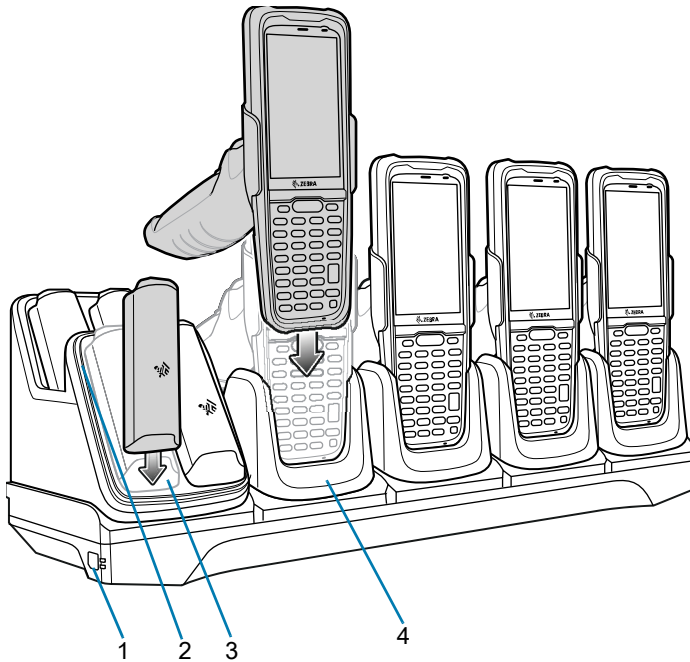
4 スロット充電専用 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

表 8 4 スロット充電専用 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) の機能

番号	項目
1	電源 LED
2	予備バッテリー充電 LED
3	予備バッテリー スロット
4	充電スロット

5 スロット充電専用 ShareCradle

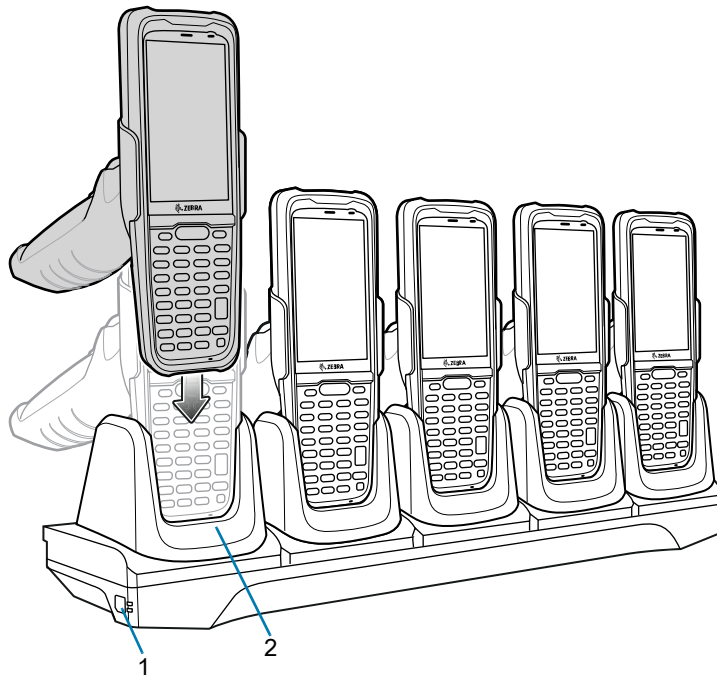


表 9 5 スロット充電専用 ShareCradle の機能

番号	項目
1	電源 LED
2	充電スロット

4 スロット バッテリー充電器

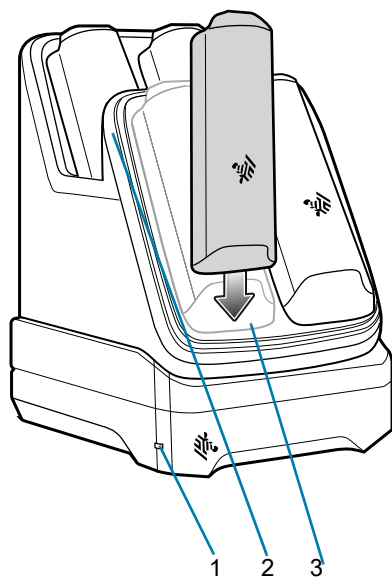


表 10 4 スロット バッテリー充電器の機能

番号	項目
1	電源 LED
2	バッテリー充電 LED
3	予備バッテリー スロット

USB-C ケーブル

USB-C ケーブルをデバイスの下部に差し込みます。デバイスにクレードルを接続すると、充電、ホストコンピュータへのデータ転送、USB 周辺機器の接続が可能になります。

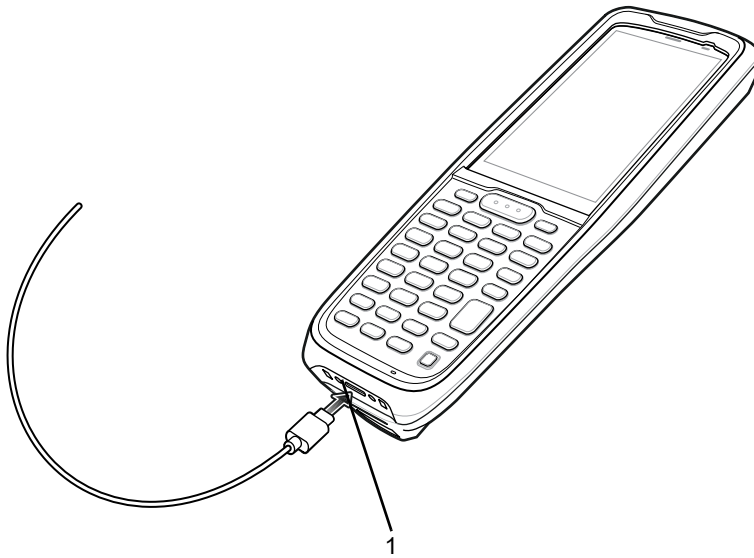


表 11 USB ケーブル

番号	項目
1	USB スロット

スキャン

デバイスでは、以下の方法でデータを読み取れます。

- SE4100

内部イメージャでのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったりバーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリが含まれています。

内部イメージャでスキャンするには、次の手順に従います。

1. アプリがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの上部にある出力ウィンドウをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを長押しします。
照準を合わせるための白いレーザー照準パターンがオンになります。



注: デバイスがピック リスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットにより、明るい照明条件でもよく見えます。

図 1 照準パターン

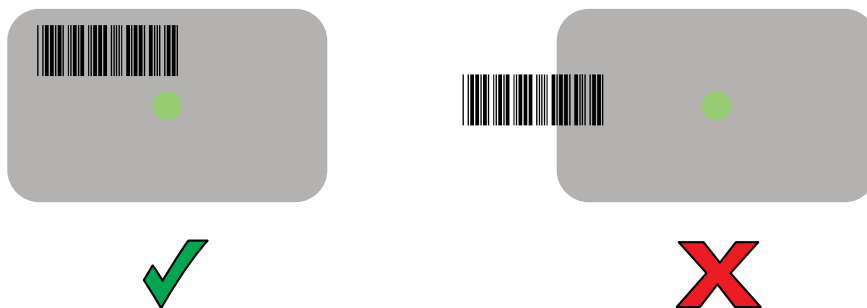
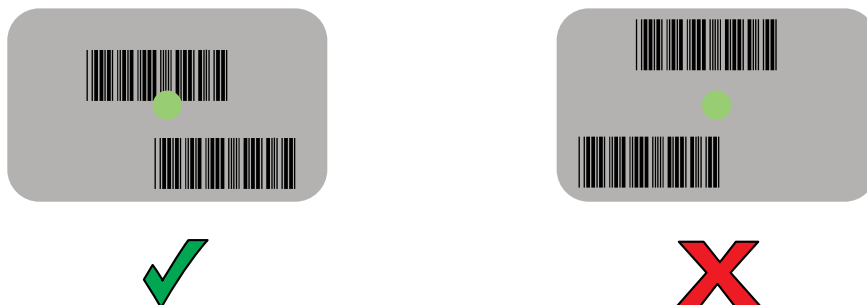


図 2 ピック リスト モード: 複数のバーコードがある場合



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを離します。



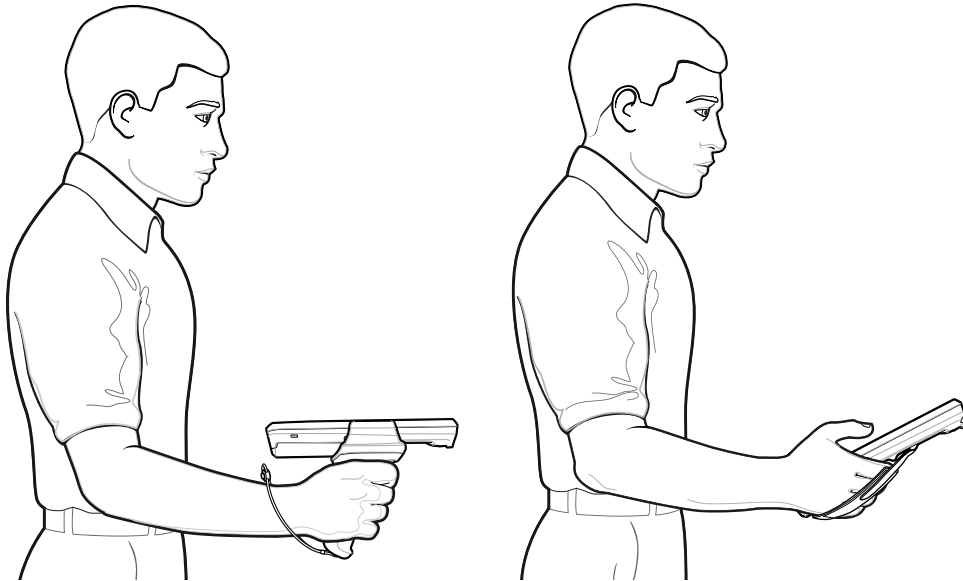
注: イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

人間工学に関する考慮事項

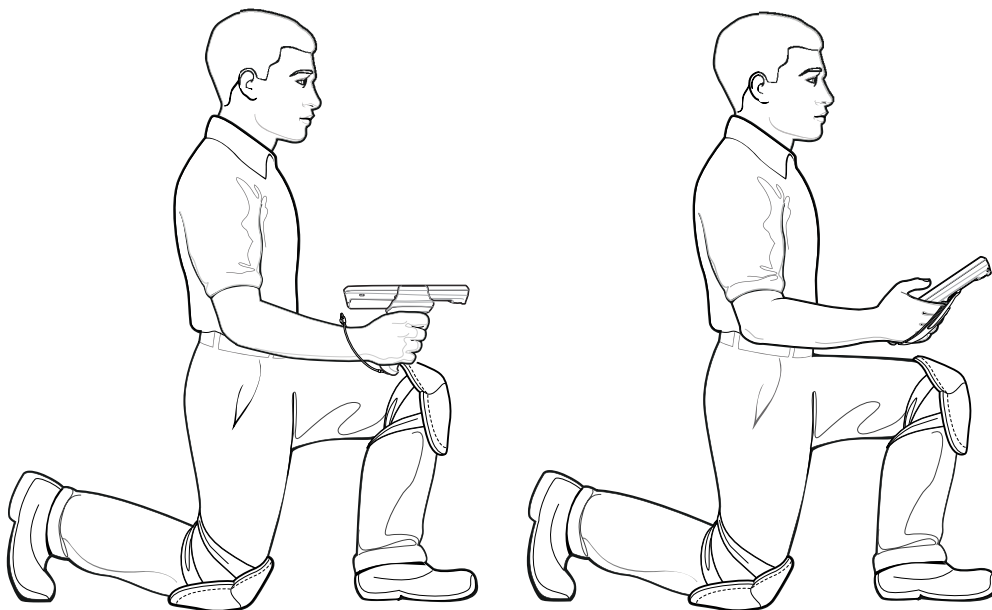
作業時は適度な休憩を取ることを推奨します。

最適な姿勢



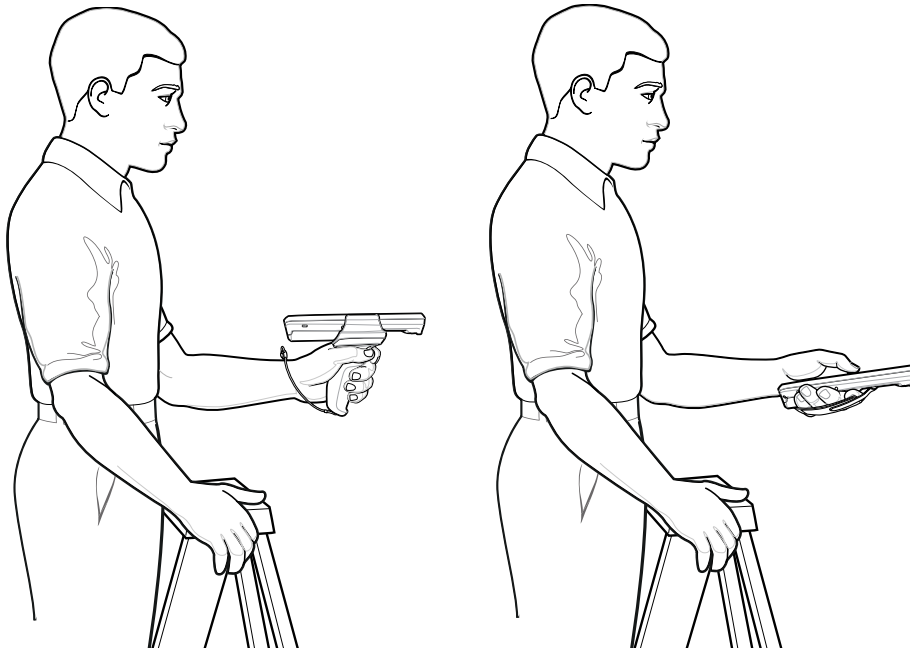
左右の手を交互に使用してください。

スキャン位置が低い場合の最適姿勢



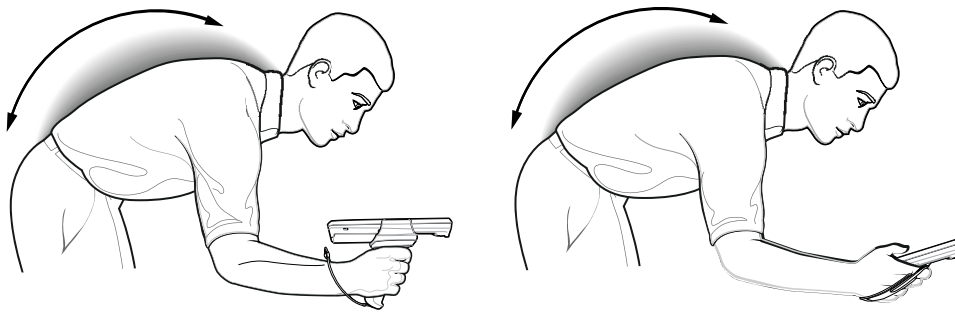
左右の膝を交互に使用してください。

スキャン位置が高い場合の最適姿勢



左右の手を交互に使用してください。

腰を曲げて作業しないでください。



無理に腕を曲げないでください。



手首を極端に曲げないでください。

